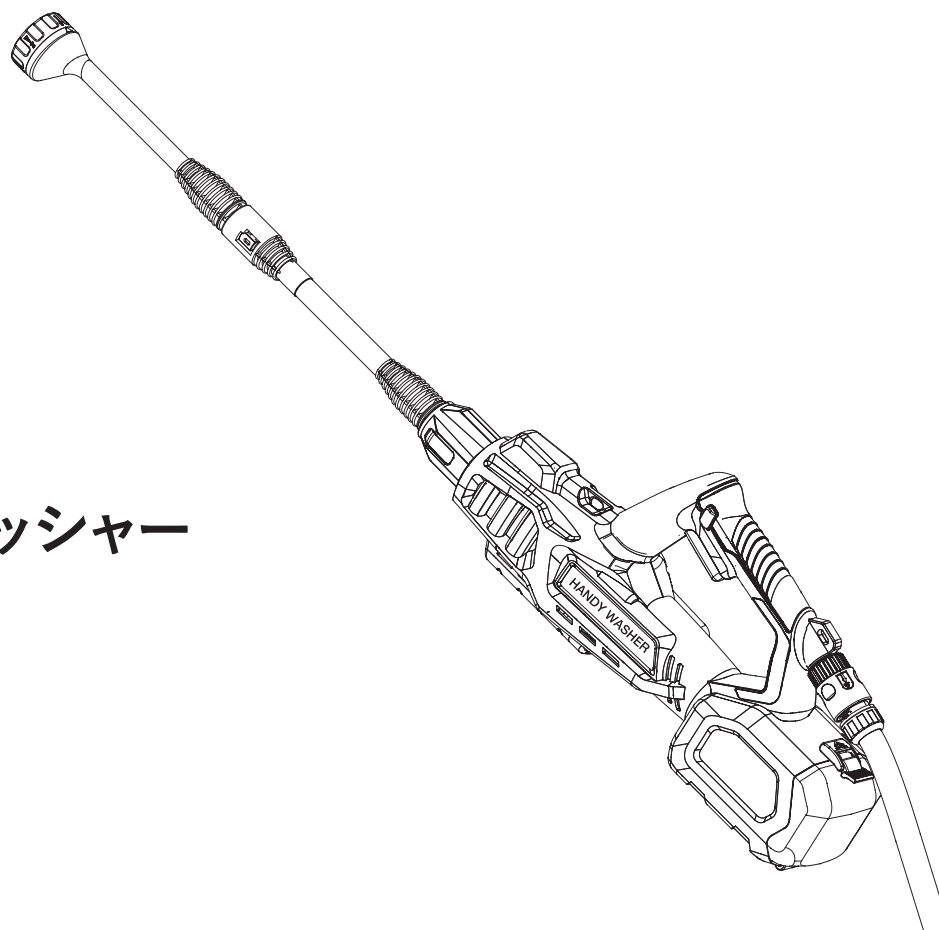


N24-05

充電式高圧洗浄機

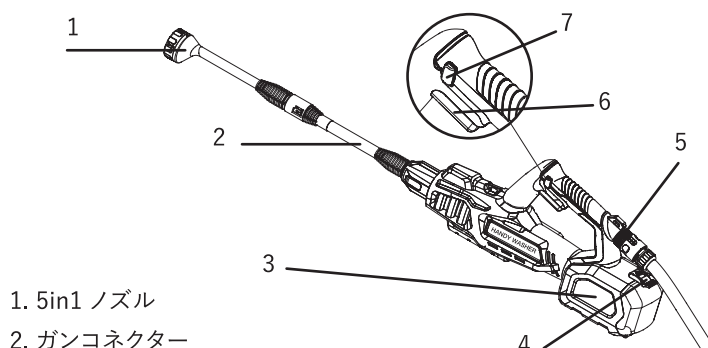
ハンディウォッシャー

HANDY WASHER

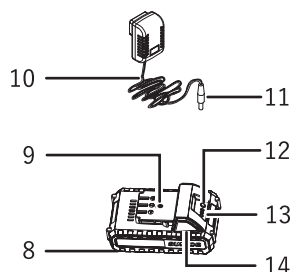


この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
本製品のご使用には必ず本説明書をお読みいただき正しくお使いください。
また、本説明書は大切にお手元に保管してください。

ハンディウォッシャー 各部の名称

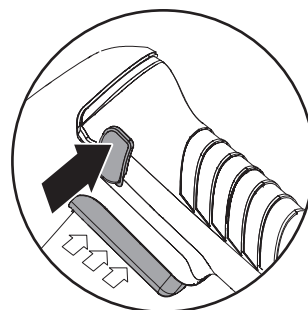


1. 5in1 ノズル
2. ガンコネクター
3. バッテリー収納部
4. ツメ
5. 給水コネクター
6. 稼働スイッチ
7. 稼働スイッチの安全ロック
8. 24Vリチウムイオンバッテリー
9. 充電ソケット
10. 24Vリチウムイオン充電器
11. 充電器プラグ
12. バッテリーインジケーターボタン
13. バッテリーインジケーター
14. プッシュロックボタン



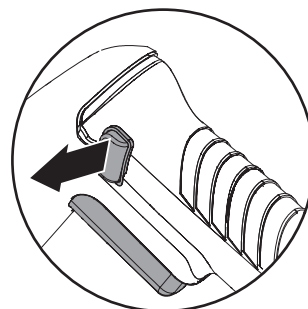
稼働スイッチの安全ロックについて

ロック解除



ロックボタンが引っ込み、稼働スイッチがにぎれる(噴射できる)状態

ロック



ロックボタンが出っ張り稼働スイッチが握れない(噴射できない)状態

仕様

■バッテリー

- ・電圧 : DC 24V
- ・容量 : 4.0 Ah
- ・充電時間 : 約3時間

■充電器

入力 : AC100～240V、50/60Hz

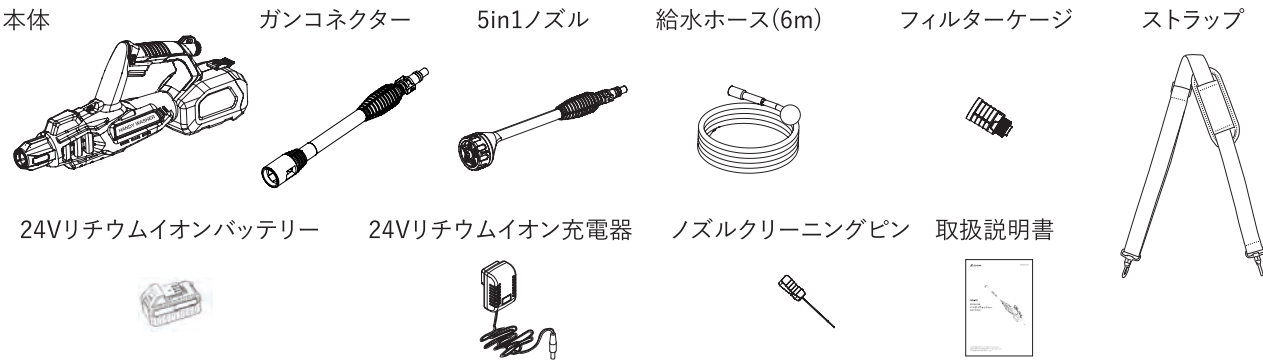
※充電時間は周囲温度(5℃～40℃)やバッテリーの状態(バッテリーの保存期間や使用度合いなど)により変動します。

■本体

- ・製品寸法(全長): 長さ960×幅100×高さ200mm
 - ・製品寸法(収納時): 長さ490×幅100×高さ200mm
 - ・重量(給水ホースを除く): 3.3kg
 - ・給水ホース: 6m
 - ・給水許容温度: 40℃以下
 - ・防水性能: IPX5
 - ・最大吐出圧力: 約4.5MPa
- ※噴射状態は直噴、水道を使用している目安です。
水圧などの状況により仕様変動することがあります。
- ・最大吐出水量: 168L/H
 - ・最大自吸高さ: 1m
 - ・給水方法: 自吸/水道
 - ・連続使用時間: 約17分～31分
- ※自吸を利用する目安時間です。
気温・使用環境・状況により異なります。

はじめにご確認ください

内容物



※ご使用する前に、すべての部品が揃っていることを確認してください。
※本製品のパッケージと梱包材を捨てないでください。修理や点検の際に必要となります。

バッテリー充電量の確認方法

	チャージレベルボタン
	バッテリー残量が30%になり、充電が必要な状態です。
	バッテリー残量が60%になり、まもなく充電が必要になります。
	バッテリー残量は十分にあります。

バッテリーのチャージレベルボタンを押すと、LEDバッテリーインジケーターから充電量を確認できます。
電池残量が少なくなったらバッテリーを充電してください。

警告 24Vリチウムイオンバッテリーパックの充電には、必ず付属の24Vリチウムイオン充電器を使用してください。他の充電器を使用すると、事故や破損の原因となります。

- ・感電の危険性を下げるため、充電器のAC/DCプラグに水をつけないでください。

バッテリーの充電方法

- 1 バッテリー収納部のカバーを開けて、バッテリーのプッシュロックボタンを押し、バッテリーパックをバッテリー収納部から引き出してください(図1)。
- 2 充電器アダプターをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。充電器のプラグをバッテリーの充電ソケットに接続し、充電を開始します(図2)。
- 3 バッテリーの充電に要する時間は、約2～3時間です。充電中は、バッテリーインジケータのLEDが点滅し、1つずつ点灯していきます。3つのLEDがすべて点灯したら、満充電の状態です。すぐに充電器のプラグを抜いてください。

- ⚠ 注意** ● 火災の危険があるので、充電器をバッテリーから取り外すときは、必ず充電器をコンセントから先に外し、次に充電器をバッテリーから外してください。
- 使用中はバッテリーが熱くなることがあります。熱くなったバッテリーは、充電する前に30分程度放置して、冷めるのを待ってください。
- 充電中に、バッテリーや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電は、室温10℃～40℃の範囲で行ってください。

- ⚠ 警告** ● 充電器は、バッテリーが満充電されても自動的に電源が切れるわけではありません。バッテリーを充電器に接続したまま放置しないようにご注意ください。充電が完了したら、必ずプラグを抜いてください。

図1

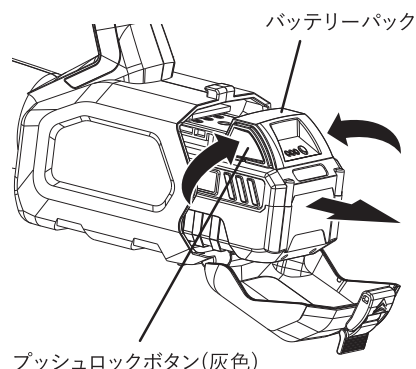
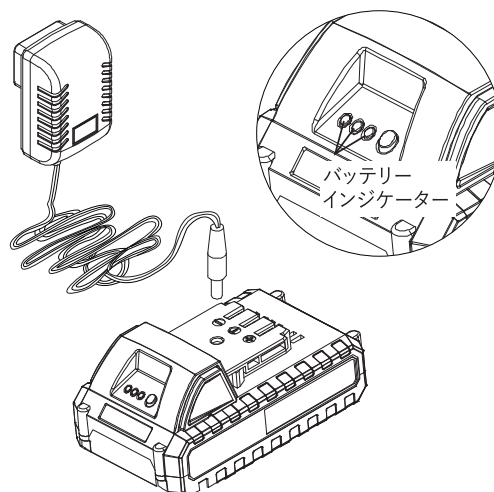


図2



お買い上げ時や長期間充電しなかった場合は、ご使用前に満充電になるまで充電してください。

ガンコネクター

1 ガンコネクターと本体を取り付ける

ガンコネクターを本体に差し込み(図3①)、奥までしっかり押し付けながら矢印の方向に回して固定します(図3②)。

2 ガンコネクターと5in1ノズルを組み立てる

5in1ノズルをガンコネクターに差し込み(図4①)、奥までしっかり押し付けながら矢印の方向に回して固定します(図4②)。

⚠ 警告 ● 取り付けする時に、必ずバッテリーを外した状態で行ってください。
● 取り付け後、各部を軽く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。使用中には各部が外れると飛び出すことがあり、ケガの原因になります。

図3

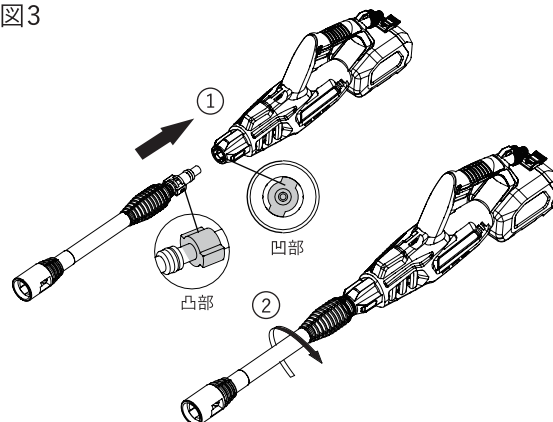
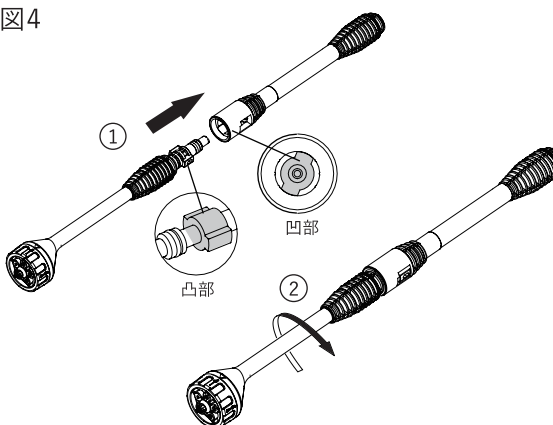


図4



バッテリー

1 取り付け方

バッテリーのフタのツメを外し、バッテリーがカチッと音がするまで押し込んでください(図5)。

2 取り外し方

バッテリーのフタのツメを外し、両側のプッシュロックボタン(灰色)を押しながら、取り外してください(図6)。

3 バッテリーのフタを閉めてください。

図5

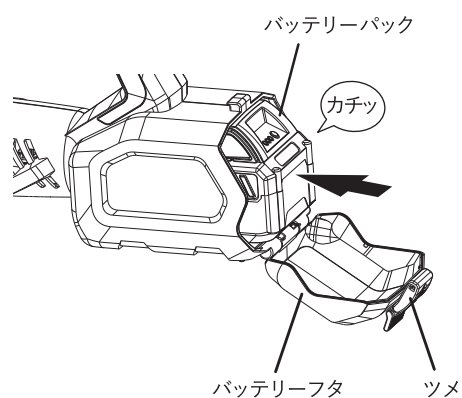
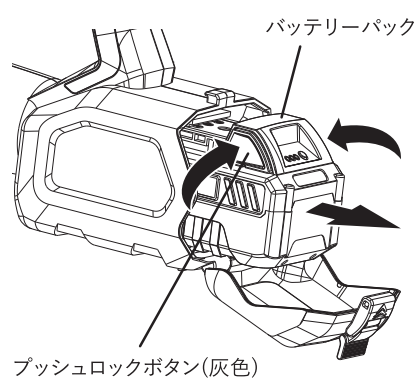


図6



バケツから給水して使用する

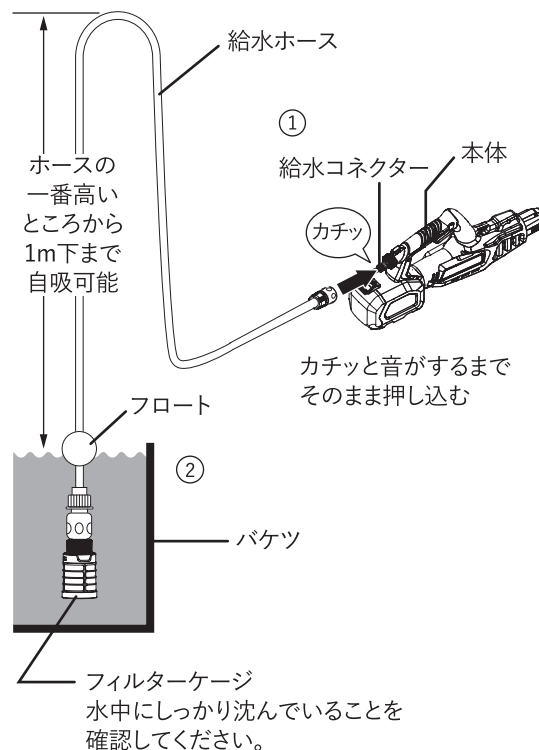
バケツに入れる前に、たらいなどに水を張り、ホースとフィルターケージを洗わせて空気を抜いてください。もしくは、フィルターケージを一旦外して水道から水を流して入れてください。

- 1 給水ホースを本体に取り付けます(図7①)。
- 2 フィルターケージをバケツに入れてください。(図7②)。
(フィルターケージはご購入時についている状態です)
(バケツは付属していません)

⚠ 注意 ● 吸い上げ可能な最大高低差は1mです。それ以上では自吸水ができません。
● キレイな水以外は使用しないでください。
● 塩素系カビ取り剤、クレンザー(磨き粉)、洗剤などは使用しないでください。

⚠ 警告 ● 取り付け後、各部を軽く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。使用中に外れるとケガの原因になります。

図7



水道から給水して使用する

給水ホースの先端には汎用のクイックコネクタが付いているので、蛇口に直接接続できます。

- 1 給水ホースを本体に取り付けます(図8)。
- 2 クイックコネクタのスリーブを引き下げ、給水ホースの先からフィルターケージを引き抜いてください(図9)。
- 3 給水ホースのクイックコネクタを蛇口に接続してください。接続する時は水道を止めてください。

注記 ● 水道直結のアダプタは付属しておりません。

⚠ 注意 ● 給水ホースは折れないよう、まっすぐに伸ばしてください。
● ホースや蛇口に接続した状態で長時間放置しないでください。
● 使い終わったら必ず水道を止めて接続を外してください。

⚠ 警告 ● 取り付け後、各部を軽く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。使用中に外れるとケガの原因になります。

図8

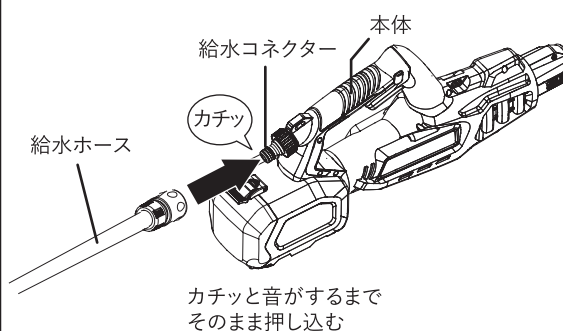
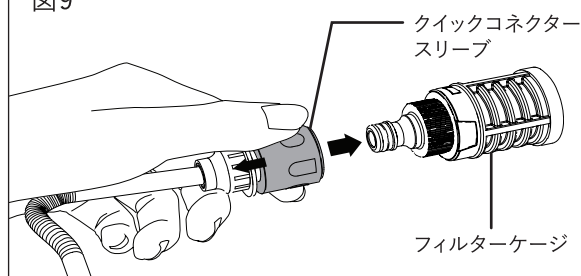


図9



操作方法

- 1 ガンを両手でしっかりと持ち、ノズル先端を地面に向け、安全ロックボタンを押しながら稼働スイッチを握って押してください(図10)。
- 2 稼働開始したら、安全ロックボタンから手を離してください。
- 3 稼働スイッチを握っている間は稼働し、手を離すと止まります。
- 4 5in1ノズルの先端を回すことで、4種類の拡散角度とシャワーが選べます。作業に合わせて選択し、使用噴射モードマークをノズルの▲マークに合わせてください(図11)。

- 注記**
- 安全設計上、初動では稼働スイッチが硬めの仕様になっていますので、しっかり強く握り、スイッチを押してください。
 - 初動はホースの中に空気がたまっているため、水は徐々に出てきます。水が安定するまで30秒ぐらい稼働させてください。

- 警告**
- 水が噴射しているときに、噴射モードを切り換えしないでください。故障・ケガの原因になります。
 - 稼働中は吹き出し口を塞がないようにしてください。
 - ノズル先端をのぞきこんだり、手や足をかざしたりしないでください。高圧水が噴射するため、ケガの原因になります。
 - バッテリー取り付け後は必ずバッテリーのフタを閉めてツメをかけてください。バッテリーが水に濡れると発熱、発火など事故の原因となります。

図10

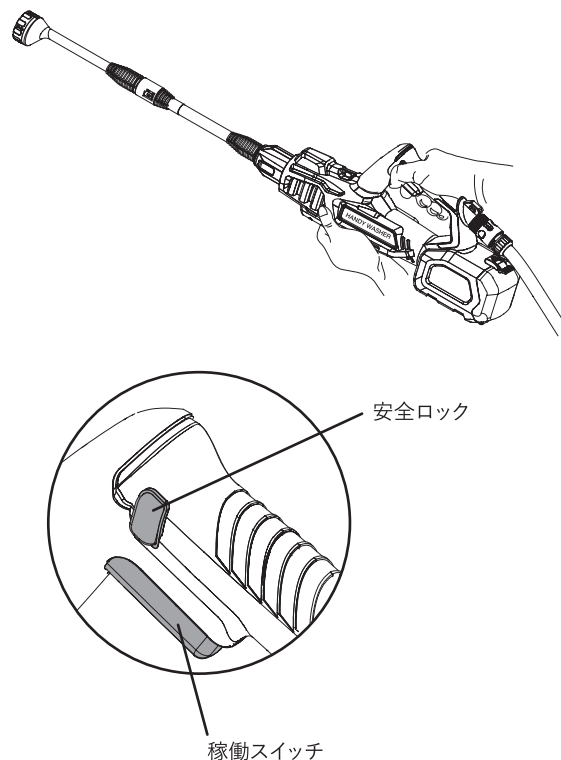
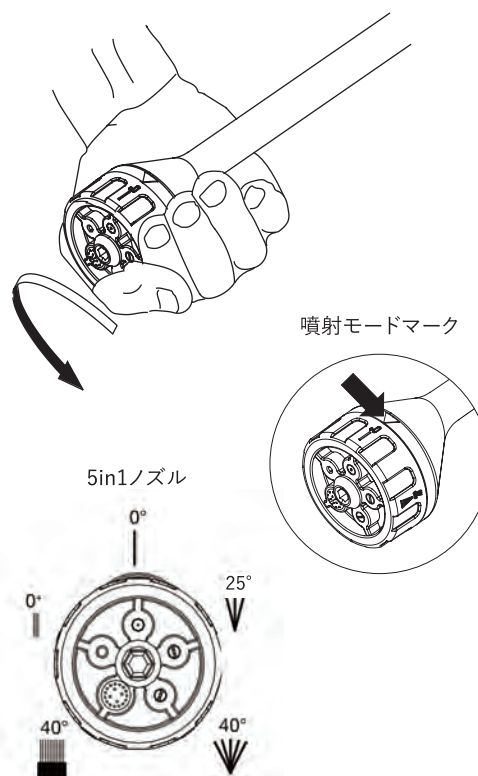


図11



洗浄方法

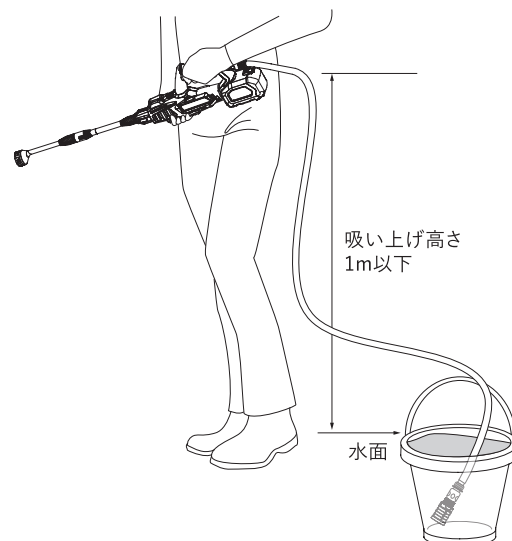
- 1** 図12のように両手で本体をしっかり持ち作業してください。吸い上げ高さは1mです。本体の吸水口から水面まで1m以下でご使用ください。
- 洗浄対象からノズル先端までは約30cm～10cm離してください。

注記 ● 何度も自動停止する場合は使用をやめ、少し休ませてからご使用ください。

⚠ 注意 ● 車の足まわりなど、グリス塗布部分に直接噴射しないでください。

● 距離が近すぎるとタイヤ、タイヤバルブ、ボディなどを損傷したり、塗装が剥がれたりする可能性があります。

図12



使い終わったら

- 1** 蛇口に接続している場合は、先に水道を止めてください。
- 2** 溜め水から自吸ホースを取り出す、または水道の蛇口から給水ホースを取り外します。
- 3** 給水ホースのクイックコネクタースリーブを手前に引きながら接続部を引き抜きます。
- 4** 稼働スイッチの安全ロックがかかっていることを確認してから、バッテリーを取り外します。
- 5** 5in1ノズル、ガンコネクターを取り外します。
- 6** ホース、ガン、ガンコネクター、5in1ノズルに残っている水を抜きます。

⚠ 警告

事故防止のため、バッテリー、ノズルの取り外しは
稼働スイッチの安全ロックがかかっているのを確認してから行ってください。

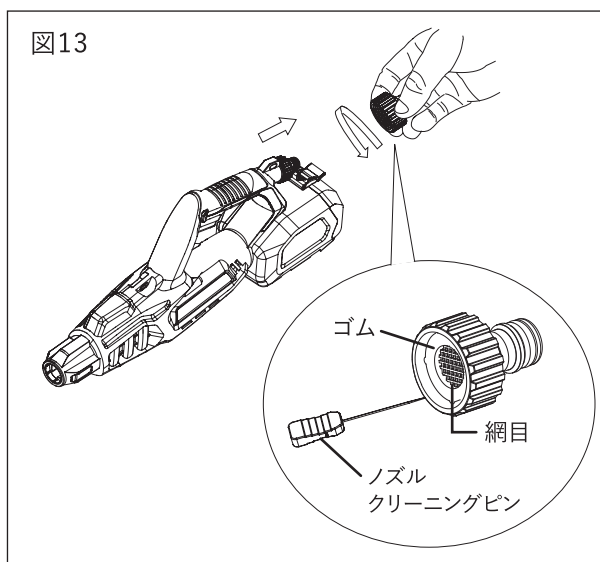
フィルターのメンテナンス

メンテナンスをしないと、水質や放置期間により目詰まりする可能性があります。

目詰まりしたまま使用すると故障の原因となります。

給水コネクター

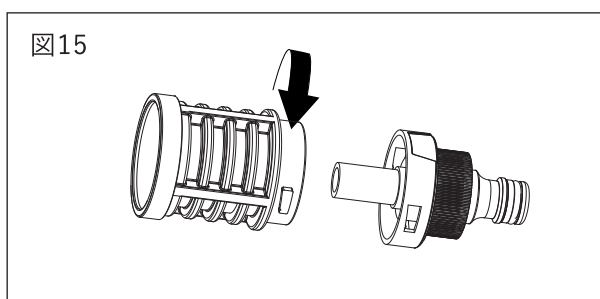
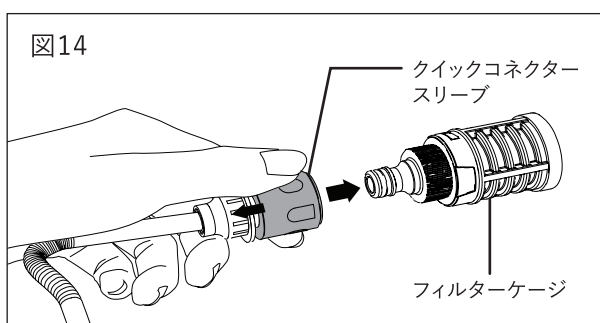
- 1 給水コネクターを取り外します(図13)。
- 2 給水コネクターの内側のフィルターをノズルクリーニングピンで清掃してください。
- 3 給水コネクターをしっかり本体に取り付けます。



フィルター

給水ホースには、ポンプを保護するためのろ過フィルターが装備されています。フィルターにゴミが付着していないかを定期的に点検してください。

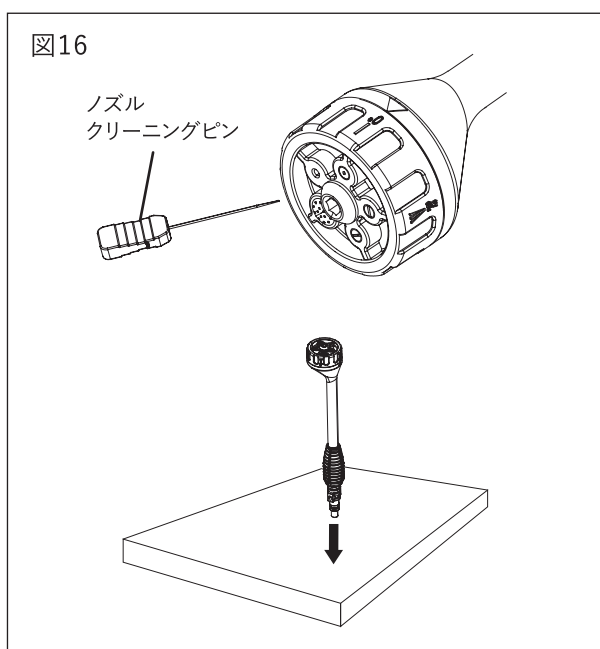
- 1 クイックコネクターのスリーブを引き下げ、吸水ホースの先からフィルターケースを引き抜いてください(図14)。
- 2 フィルターケースを矢印の方向に回して分解し(図15)、フィルターケースの内側をきれいな水で洗い流し、ゴミを取り除いてください。
- 3 ゴミや汚れがついていないことを確認し、クイックコネクターにフィルターケースを取り付けてください。



5in1ノズル

ノズルクリーニングピンで定期的にノズルの穴を点検・清掃してください。

- 1 ノズルの先端から穴にノズルクリーニングピンを差し込んでください(図16)。
- 2 ノズルの取り付け側を下にして軽く下に叩きつけて内部の異物を排出してください。



保管方法

ハンディウォッシャーの保管については、以下の推奨事項に従ってください。

- ・バッテリー保護のため、バッテリーを60%以上充電された状態で保管してください。
- また、その後も6ヶ月に1回は満充電にしてください。
- ・本機器の稼働スイッチの安全ロックをして電源を切り、バッテリーを取り外して保管してください。
- ・ノズルクリーニングピンでノズルを掃除してください。
- ・給水コネクターを使用した場合は分解し、清掃をしてください。
- ・ホースと本体に溜まった水を排出し、乾いた布で拭いて、全体を乾かしてください。
- ・本体側など各接続部にゴミが入らないよう、保護して収納してください。
- ・子供の手の届かない屋内の安全な場所に保管してください。
- ・園芸用薬品、凍結防止塩、腐食剤、シンナー、油などに近づけないでください。
- ・湿気が少なく、周辺温度が25°C前後の環境で保管してください。
- ・本体側と金属部は完全に乾かしてから収納してください。

廃棄について

機器の廃棄については、お住まいの地域の自治体が定める区分に従って処分してください。

バッテリーに関する注意および処分について

バッテリーは、必ず自治体の規則に従ってリサイクルまたは処分してください。

⚠ 注意 放電したバッテリーパックにも電気が残っています。
バッテリーパックのショートによる火災や爆発を防ぐために、処分する前には絶縁テープで端子を覆ってください。

⚠ 警告 けがや爆発の危険を下げるため、バッテリーパックが破損していたり、バッテリーが切れていたり、または完全に放電している場合でも、絶対に焼却しないでください。有毒ガスや有毒物質が周囲の大気中に放出されます。

安全上のご注意

本書では、製品を安全にお使い頂き、お客様や他の人々への危害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を警告マークで表示しています。このマークは誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。

また、これらのマークを表示している事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

 危険	誤った使い方をしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示します。
 警告	誤った使い方をしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った使い方をしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

作業場の安全確保について

- 可燃性液体、ガス、ほこりなどの爆発物がある環境では電動機器を操作しないでください。電動機器から発生した火花が、埃や煙に引火する恐れがあります。
- 作業者以外の人や子供を近づけないでください。子供やペットなど、作業者以外の人はこの製品に触れないようにしてください。

バッテリー取扱上のご注意

-  **危険**
 - バッテリーパックを燃やしたり焼却したりしないでください。バッテリーパックが爆発して、人身事故や故障の原因となります。バッテリーパックを燃やすと、有毒なガスや物質が発生します。
 - バッテリーパックを押しつぶしたり、落としたり、破損させたりしないでください。バッテリーパックや充電器が強い衝撃を受けたり、落下したり、車などに踏まれたり、破損している場合（釘穴があいている、ハンマーで叩かれた、踏みつけられたなど）は使用しないでください。
-  **警告**
 - 弊社指定の交換用バッテリー以外は使用しないでください。他のバッテリーを使用すると、機器の破損や誤作動の原因となり、重大な事故を招く恐れがあります。
 - 充電する際は、弊社が指定する充電器以外は使用しないでください。別の充電器を使用した場合、火災を引き起こす恐れがあります。
 - 本機器には指定のバッテリーパック以外は使用しないでください。他のバッテリーパックを使用した場合、けがや火災の危険性があります。
 - バッテリーパックを使用していないときは、クリップやコイン、鍵、くぎ、ネジなど、端子同士を接触させる可能性が

ある小さな金属に近づけないようにしてください。バッテリーの端子同士が短絡（ショート）してしまうと、やけどや火災を起こす恐れがあります。

- 過酷な条件下では、バッテリーから液漏れすることがありますので、触れないようにしてください。誤って触れてしまった場合は、水で洗い流してください。万が一、液体が目に入った場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- バッテリーから漏れた液体は、皮膚炎またはやけどの原因になります。

- 破損または改造したバッテリーパックや機器を使用しないでください。破損または改造したバッテリーは予期しない動作や、火災、爆発、けがの原因になります。

- 雨や雪、湿気や水分の多い場所でバッテリーパックを充電しないでください。

- バッテリーパックや機器を火の近くや高温下に置かないでください。バッテリーの許容温度範囲は5°C～40°Cです。極端に寒い屋外では充電しないでください。充電は室温で行ってください。火の近くや40°C以上の温度にさらされると、爆発の恐れがあります。

注意

- バッテリーパックは冷しい場所（25°Cが理想的）に60%以上充電された状態で保管してください。
- リチウムイオンバッテリーは自然に経年劣化します。バッテリー容量が新品時の80%に低下した場合、バッテリーパックの交換が必要です。劣化したバッテリーパック内の弱ったセルは、機器の正常な動作に必要な電力要求を満たすことができなくなり、安全にお使いいただけない恐れがあります。
- バッテリーを過放電しないでください。過放電すると、バッテリーセルが破損します。
- バッテリーの性能が著しく低下したり、電子保護装置が作動したりした場合、すぐに作業を中止してください。
- バッテリーパックは、満充電にした後に保管してください。
- 過負荷からバッテリーと機器を保護してください。過負荷がかかった場合、外見上は分からなくても、すぐにバッテリーケースの内部が過熱し、セルが破損します。
- バッテリーに傷や衝撃を与えないようにしてください。1メートル以上の高さから落下したり、強い衝撃を受けたりしたバッテリーは、バッテリーパック内のセルが著しく破損している可能性があります。そのような場合は、自治体の指示に従い、適切にバッテリーを処分してください。
- バッテリーパックに過負荷がかかり過熱した場合、保護回路が作動し機器の電源を切ります。保護回路が作動した場合は、それ以上は電源ボタンを押さないでください。バッテリーパックが破損する恐れがあります。

充電器の取扱上のご注意

⚠ 警告

- 電気プラグやコードの破損を防ぐため、充電器のプラグを外すときは、コードを持たずにプラグを持ち、コンセントから引き抜いてください。
- 充電器を、コードを持って持ち運びしたり、コードを引っ張ってコンセントから抜いたりしないでください。
- 説明書の指示に従い、バッテリーパックや機器を充電してください。誤った方法や指定の範囲外の方法で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険性を高めます。
- 本機器やバッテリーパックの改造や修理をしないでください。
- 充電器の使用時、コードを踏んだりつまづいたり、破損や負荷を与えたりしないように注意してください。
- コードやプラグが破損している充電器は使用しないでください。破損した充電器は直ちに交換してください。
- どうしても必要な場合を除き、延長コードは使用しないでください。コードの誤使用、破損したコードの使用、不適切な延長配線は、火災や感電の危険があります。
- 充電器の定格は、AC100～240Vです。充電器は適切なコンセントに差し込んでください。
- 充電器を使用していないときは、電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜いた充電器からは、バッテリーパックを必ず取り外してください。

充電器と充電中に関する注意事項

⚠ 注意

- 長時間使用すると、バッテリーパックが熱を持ちます。充電器に接続する前に、バッテリーパックを室温まで冷ましてから充電してください。
- バッテリーを過充電しないでください。最大充電時間を超えないようにしてください。充電済みまたは一部充電されたバッテリーパックを頻繁に充電機に接続すると、過充電になりセルが破損することがあります。バッテリーを何日間も充電器に接続したままにしないでください。
- 充電中に湾曲や変形を起こしたバッテリーや、その他の異常な症状(ガス発生、シューシュー音がする、亀裂など)を起こしたバッテリーは使用しないでください。
- 付属しているバッテリーパックは、満充電されていません。初めて使用する前には、バッテリーパックを満充電にしてからお使いください。
- バッテリー性能を最適化するため、バッテリーパックを頻繁に充電し、放電サイクルが短くならないようにしてください。

人への安全確保について

- お子様に本機器を操作させないでください。
- 推奨する付属品のみを使用してください。不適切な付属品を使用すると、けがをする危険性があります。
- 本機器を使用する前に、すべてのホースおよび付属品が適切に接続されていることを確認してください。
- 破損したホースや部品は使用しないでください。
- ホースをねじったり、極端に曲げたりしないでください。
- 無理な使用はしないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。作業に合った製品を使用してください。
- 作業に適した服装で作業を行ってください。
- 不安定な場所や無理な姿勢で作業をしないでください。
- 周囲に十分注意して作業を行ってください。
- 十分に防塵対策や飛散防止対策をしてください。
- 使用する前に、破傷や変形した部品がないか点検してください。
- 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれる原因や、衣服が損傷するおそれがあります。
- 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所での使用はしないでください。

本機器の使用とお手入れ

- 付属品の交換および本機器の調整や保管の際には、本機器からバッテリーパックを取り外してください。電動機器が誤って始動する可能性があります。
- 本機器を使用していない場合は、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動機器の扱いが不慣れた人や、取扱説明書を読んでいない人に操作させないでください。
- お手入れの際は柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。アルコールやベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- 一般的な洗浄用途にのみ使用してください。
- バッテリー収納部のカバーが完全に閉まっていることを確認し、水がバッテリーに付着したり、バッテリーケースの開口部に入ったりしないようにしてください。

使用・保管環境について

- コードレス機器と充電器を湿気や雨にさらさないでください。セルに危険な損傷を与える可能性があります。
- コードレス機器や充電器を、蒸気や引火性液体の近くで使用しないでください。
- 充電器およびコードレス機器は湿度の低い環境下で、周囲温度(5°C～40°C)の範囲でのみ使用してください。
- 充電器を40°C以上になる可能性のある場所に置かないでください。特に、炎天下の車内に充電器を放置しないでください。
- バッテリーを過熱から防いでください。過負荷や過充電、直射日光下の放置は、過熱およびセルの破損の原因になります。過熱したバッテリーの充電や作業は行わないでください。

- 充電器とコードレス機器は、周囲温度(5°C～40°C)で湿度の低い場所に保管してください。リチウムイオンバッテリーパックは、涼しく湿度の低い場所で、25°Cで保管してください。バッテリーパックや充電器、コードレス機器は、湿気や直射日光を避けてください。バッテリーは満充電した状態でのみ保管してください(40%以上の充電は必要)。
- リチウムイオンバッテリーパックが凍結しないようにしてください。0°C以下で60分以上保管したバッテリーパックは処分してください。
- バッテリーを取り扱う際は、静電気に注意してください。静電気の放電は、電子保護回路やバッテリーセルに損傷を与える可能性があります。バッテリーに静電気が帯電しないように注意してください。電極には触れないでください。

安全記号

本取扱説明書に表示される安全記号の意味は、下表のとおりです。組み立てや操作を行う前に取扱説明書を読んで内容を理解し、指示に従ってください。

記 号	説 明	記 号	説 明
	取扱説明書を参照 組み立てや操作を行う前に取扱説明書を読んで内容を理解し、指示に従ってください。		安全警告 注意や警告、危険を示します。
	警告 本機器を雨や湿気にさらさないでください。湿気厳禁。		充電器は屋内専用です。
	水濡れ厳禁		直射日光の当たる場所や高温の場所を避けてください。
	バッテリーは、必ず自治体の規則に従ってリサイクルまたは処分してください。		火気厳禁
	二重絶縁		機器の廃棄については、お住まいの地域の自治体が定める区分に従って処分してください。

トラブルシューティング

よくある問題とその解決策については、下記トラブルシューティングの表を参照してください。

症 状	考 え ら れ る 原 因	対 策
充電できない	・本機で使用した直後、または炎天下の車内などに保管したため、バッテリーが高温になっている ・充電器の電源プラグが奥までしっかり差し込まれていない ・バッテリーまたは充電器が破損している	・バッテリーを一旦充電器から外し、バッテリー温度が5～40°Cになる環境で充電する。 (推奨:10～30°C) ・奥までしっかりと差し込む。 ・お客様では修理せずに、購入店へ修理、点検をご依頼ください。

症 状	考 え ら れ る 原 因	対 策
充電に時間がかかる	・バッテリーの温度が低い ・バッテリー残量が少ない	・バッテリー温度が低いと充電しにくいことがあるため、充電は使用環境温度が5～40℃の範囲で行う。 ・そのまま充電を続ける。
満充電してもバッテリー残量がいつもより早くなる	・気温が低く、バッテリーの温度が低すぎる ・充放電を繰り返し、バッテリーが劣化している	・バッテリーを使用環境温度が5～40℃の室内にしばらく放置する。 ・新しいバッテリーに交換する(バッテリーの寿命)。
本機が動かない	・バッテリー残量が少ない ・バッテリーが接続されていない ・バッテリーが高温になっている ・稼働スイッチを握れない(安全ロックが「ロック」状態になっている)	・充電を行う。 ・バッテリーを接続あるいは奥まで差し込む。 ・バッテリーを風通しの良い日陰に置くなどして一旦冷ます(水に濡らさない)。 ・稼働スイッチの安全ロックを「ロック解除」状態にする。
水が出ないが、モーター音はしている(ポンプは動いている)	水道蛇口からの給水の場合： ・水道蛇口が開かれていないか、開き足りない(給水量が少ない) バケツからの給水の場合： ・最大自吸高さを超えている ・給水ホースが折れている、押しつぶされている ・ホースや本体内に空気が入っている ・ノズルが目詰まりしている ・ワンタッチカップリングの接続が不十分である ・給水ホースのフィルター、給水コネクタが目詰まりしている ・バッテリー残量が少ない	・水道蛇口を徐々に開く。 ただし、開きすぎると給水ホースや本体に異常な振動が発生し、故障の原因となります。様子を見ながら、蛇口の開き具合を調節してください。 ・最大自吸高さ1m以内にする。 ・給水ホースをまっすぐにして、水が通るようにする。 ・ノズルを付けない状態で稼働スイッチを押し、本体から出る水に泡がなくなるまで運転する。 ・ノズルクリーニングピンでノズルを清掃する。 ・ワンタッチクイックコネクタを給水コネクタ(本体側)に、合わせ目のすき間がなくなるまでしっかりさし込む。 ・フィルター、給水コネクタを清掃する。 ・充電する。
水圧が上がらない	・ノズルが目詰まりしている ・お湯を使用している 水道蛇口からの給水の場合： ・水道蛇口を開き足りない(給水量が少ない) バケツからの給水の場合： ・ため水(バケツなど)の水面からフィルターおよび給水ホースが浮いている	・ノズルクリーニングピンでノズルを清掃する。 ・給水許容温度を守る(40℃以下)。 ・水道蛇口を徐々に開く。 ただし、開きすぎると給水ホースや本体に異常な振動が発生し、故障の原因となります。様子を見ながら、蛇口の開き具合を調節してください。 ・フィルターおよび給水ホースを水中に沈める。
給水コネクタと本体接続部から水漏れする	・給水コネクタが破損、またはネジ山が傷んでいる ・給水コネクタが締まっていない、または斜めに締めこまれている	・給水コネクタを交換してください。 ・正しく給水コネクタを締めてください。
本体内部から水漏れする	・ポンプの焼損、凍結	・使用を中止し、販売店へご相談ください。

保証書

お名前：

電話番号：

郵便番号 / ご住所：

製品名：N24-05 ハンディウォッシャー

ご購入先（販売店名）：

購入日：

保証期間：ご購入から 6 カ月

症状：

保証規程

■本製品は、製品保証期間内（ご購入から 6 カ月間）において、正常な状態・状況でご使用 の場合に限り品質を保証いたします。万が一、商品に不良・故障がありましたときには、交換対応させていただきますので、その際には弊社までご連絡ください。

■下記条件にあてはまる場合には保証が無効になる可能性があります。

- ①保証書をご提示いただけない場合。
- ②所定の項目をご記入いただけない場合、字句を書き換えた場合。
- ③故障の原因が取扱い上の不注意、故意によるものの場合。
- ④天変地異、その他のあらゆる外部要因による故障、損傷。
- ⑤通常使用の範囲を超える状況での使用による故障、損傷。

■お客様自身による改造・修理が行われていると判断した場合は、保証期間内でも返品・交換はお受けできかねます。

■本保証は、当該製品単体の保証を意味し、製品の故障や不具合により誘発される全ての損害（営業損失、遅送料、諸経費等）は保証対象に含みません。

■本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

〈販売元・問合せ先〉



株式会社 昭和商会

〒466-0034

愛知県名古屋市昭和区明月町 2-27

[お問合せ] 052-851-3153

営業時間 平日 9:00 ～ 17:30（年末年始を除く）

領収書貼付